

## 元気に咲いて 願い込め



土をこねて種ばくだんを作る園児

ハ  
フ

八戸市の八戸学院聖アンナ幼稚園(山西幸子園長)の園児45人が6日、同幼稚園で泥の中にさまざまな植物の種子を入れた団子状の「種ばくだん」作りに挑戦した。

種ばくだんは、愛媛県出身の自然農法実践家・故福岡正信氏が考案した「粘土団子」が基になっている。団子の内部に水分が蓄えられ、乾いた土地でも植物が育ちやすくなることが特徴。

同幼稚園での種ばくだん作りは昨年に続き2回目。種は

### 聖アンナ幼稚園 種ばくだん作りに挑戦

園児が自宅から持ってきたヒマワリなどの12種類を使用。先生から作り方を教わった後、園児は「冷たい!」などと声を上げながら、種が混ざった土を一生懸命こねた。種ばくだんが完成すると、植物が元気に成長するようお願いしながら、完成した種ばくだんをコロコロと園庭に転がしてまいた。

窪田侑叶ちゃん(5)は「たくさん芽が出てほしい。またやりたい」、山本海翔ちゃん(同)は「土にいっぱい触れて楽しかった」と話した。

(相澤賢齊)